

# 個人投資家のための IRフォーラム2017 summer

～ニッポンの未来を豊かにする企業～

セミナー会場

6727

ワコム



代表取締役社長兼CEO 山田 正彦 氏



## ～独自のデジタルペン&インク技術でデジタル文具の時代を切り開く～

### ワコムとは

- **ペンタブレットのグローバルリーダー**
  - ・1983年に設立、パソコン入力機器であるペンタブレット製品を開発・製造・販売しています。
  - ・1984年に世界初のコードレス・ペンタブレットを発表、事業を拡大し、クリエイティブ ペンタブレット市場の世界シェアNo.1(2015年 当社推定)。
  - ・映画制作や自動車の工業デザインなど現場で働くクリエイティブな人々を支えており、ディズニーが「美女と野獣」を当社のペンタブレットで制作しました。
  - ・2011年に当社のペン技術がスマートフォンに採用されています。
- **グローバルに10現地法人、30オフィス以上を展開**
  - ・1988年にドイツに現法を設立、1991年にアメリカ、2000年代にアジア各国に現法を設立しました。
  - ・全従業員(1,262名:2017年3月末現在)の内、約700名が外国人で、世界各国で働いています。
  - ・2013年に、米フォーブス誌の「アジア・ベスト200(年商10億ドル未満)」に選出されました。
  - ・所在地別売上は、日本10.1%、アジア・オセアニア15.1%、アメリカ19.0%、欧州18.3%、その他です。
- **ジャスダック(2003年)、東証一部(2005年)に上場**

### キーテクノロジーと事業ライン

- **強みは、2つのキーテクノロジーとグローバルな知的財産管理**
  - ・当社には2つのキーテクノロジーがあります。
    1. 電磁誘導方式(EMR)は高速・高精度位置センサーで、電池不要なデジタルペンを可能にしました。
    2. アクティブESテクノロジーはタッチセンサーを使った独自の静電結合(ES)方式のペンテクノロジーです。
  - ・グローバルな特許・意匠出願/管理体制  
グローバルブランド「Wacom」を支える商標維持体制で、知的財産管理をグローバルに行っています。
- **3つの事業ラインと製品群**
  - ・3つの事業ラインと各製品で構成されます。
    1. ブランド製品事業(2017年3月期売上比61.6%)  
ペンタブレット各種製品の開発・製造・販売(製品) ペンタブレット、モバイル、ディスプレイ、デジタル文具、電子サインタブレット、液晶ペンタブレットなど
    2. テクノロジーソリューション事業(同37.5%)  
ペンとタッチによるユーザーインターフェース(UI)の総合的なペーパーレス・ソリューションを提供
    3. その他事業(同0.9%)  
CADソフトウェアなどを提供

### 業績の推移

- **2017年3月期から2018年3月期に回復へ**
  - ・前期(2017年3月期)は新製品の開発遅延やIT投資に関わる販管費増加などにより売上高71,314百万円、営業損失1,171百万円となりましたが、今期(2018年3月期)は、売上高76,800百万円、営業利益1,800百万円と増収、黒字回復を見込んでいます。
- **安定配当と機動的な自己株式取得の実施**
  - ・配当方針は内部留保を確保しながら安定配当です。
  - ・配当性向は連結ベースで40%以上を維持します。(2018年3月期は年6円で配当性向予想は86.2%)
  - ・自己株式取得を機動的に実施しています。2013年10-12月に200万株、2015年5-6月に230万株、2016年5-9月に216万株です。

### 今後の戦略・取り組み

- **デジタルインクの新標準WILLを提供へ**
  - ・当社はOSやハードウェアメーカーの壁を越えたデジタルインクの新標準WILL(Wacom Ink Layer Language)を開発、提供しています。
- **マルチテクノロジー戦略でデジタル文具時代をリード**
  - ・今後の技術戦略は、マルチテクノロジー戦略とオープンパートナーシップにより、デジタルペン技術の基盤拡大とデジタルインクの標準化を推進し、デジタル文具の時代をリードします。
- **世代交代による経営陣の若返りを予定**
  - ・来期(2019年3月期)より新しい代表取締役社長が就任するとともに、新たな中期経営計画の発表を予定しています。